

# 一 般 質 問

山田議員

## 新体育館について

問 昭和町に新体育館を建設するという新たな提案をされたが

①この計画は用地費などを含むと30億円になる。勝山市の財政力で長尾山総合公園や中央公園の整備などを同時に実施するのは無理ではないか。

②あてにした補助がない場合、この計画の有利性はなくなる。その際は、この計画を白紙に戻して再検討すべきではないか。

③昭和町は水害や土砂災害が発生している。この場所での建設すると、集中豪雨時に道路が冠水して体育館は孤立し、下流域の被害を悪化させる危険がある。

④この計画以外にも候補地はある。専門家を加えた機関が比較評価をして建設場所を選ぶべきだ。それとも、この計画しか認めないという考えなのか。

答 ①今後、おおむね10年先を見据えた勝山市公園施設長寿命化計画を策定し、長期計画を立てて公園整備を進めていく。

②都市公園整備事業での一件採択の対象にならなかつた場合でも、都市公園として位置づけすることにより、文部科学省と国土交

その他の質問  
水道事業の工事負担について  
鳥獣害対策について

通省の種々の事業の組み合わせにより整備を進めることも可能となる。現時点では、より有利な都市公園整備事業の採択が受けられるよう最大限の努力をしていく。

③今回の事業施工を機会に、地元との協議を深め防災面での安全性をより高めていく事を基本に対処していく。  
④いろいろな要素を事前に調査し、その感触を得ながら絞り込んできたのでお認めいただきたい。



洪水・土砂災害ハザードマップ

門議員

## 鳥獣害対策に伴う道路の通行止めについて

問 道路を通行止めにしてガードレールなどを利用し、電気柵で地域を丸ごと囲い込んで例を見かける。通行量の少ない山間部の市道ではこのような鳥獣害対策がある程度可能と思われるが、理事者の見解を伺う。

答 道路法及び道路交通法の規制を受けることから警察署との協議も必要になる。集落からの要請があった場合、案件ごとに警察署と協議し、よりよい方法を前向きに検討していく。

## 総合計画の実施について

問 地域の団体等に対する帰属意識の希薄化を危惧しているが、地域力、市民力をどのように発揮させていくか。また、各地区の主體的な地域づくりの推進、集落などとの連携等を視野に入れた新しい行政区の枠組みづくりについてどのように取り組むか伺う。

答 「公助」をインセンティブとしてまちづくりに対する意欲を高め、「自助」「共助」を一体的に支援す

ることで地域力、市民力の向上を図り持続可能なまちづくりを進めていく。

各地区の主體的な地域づくりの推進については、総合計画で示している「地域づくりの視点」に向けたまちづくりを進めるため、地区全体が主體的に取り組む事業に対し支援していく。

区の連携等を視野に入れた新しい行政区の枠組みづくりについては、中心市街地と周辺の中山間地域それぞれの特質や規模に合わせた政策を推進し相互連携を進めると共に、地域主体の取り組みに幅広い支援を行っていく。



電気柵